



このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚

祇園橋
昭和40(1965)年頃
山本町

昭和42(1967)年5月より祇園橋の架け替え工事がはじまり、昭和43(1968)年5月13日に現在の祇園橋が竣工する。財田川に架かる祇園橋は主要地方道観音寺池田線と県道財田西豊中線を結ぶ主要な橋であり、住民の生活の利便性向上につながった。

※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。〔文書館 ☎63・1010〕

「思い出の1ページ」

「これは昔の祇園橋の写真だね。今の祇園橋へ架け替える時に、この橋の隣に臨時の橋が架かっていたのを今も覚えていてよ」と話してくれたのは、祇園橋のすぐ近くに住む内田芳樹さん(73)。

「橋が開通してすぐの頃は、まだ自動車も通ることができませんでした。しかし、木造のため、橋の真ん中あたりが沈みだし、ついには、看板に書かれているように『自動二輪車以上の車両通行止め』になったのだと思います」と写真を見ながら話してくれました。

「小学生の時は、財田川が遊び場でした。暖かくなってくると、学校から帰るとすぐ水着に着替えて、毎日川に行っていました。川ではよく、魚や小さいカニを取っていました。大きな釣り針にえさのミミズをつけて、石の隙間に入れると、うなぎも取れたんですよ。そんなに大きなうなぎはなかったが、当時の財田川にはうなぎがたくさんいましたね。」

また、川の水が澄んでいたのに、魚が泳いでいるのがよく見えませんでした。番線(太い針金)で水面を叩くと、魚が気絶して、簡単に捕まえられました。あと、ビンづけ(魚用の罟)を使って

よく魚を取っていました。メリケン粉とお酢を混ぜて作ったえさをビンの中に入れて川に沈めると、魚がビンの中に入ってきて出られなくなるんですよ。取った魚は家に持ち帰って、母親からあげにしてみました。頭からかぶりつけていたなあ」と懐かしそうに話してくれました。

「今年から、山本小学校が開校して、祇園橋は約70人の小学生の通学路になりました。子どもたちが安全に渡れるよう、今、祇園橋の横に歩道橋が造られています。50年前のように、また祇園橋の景色が変わっていきますね」と話す内田さんは、現在、交通指導員として、毎朝小学生を暖かく見守っています。

編集 後記



誰のために、何のために選挙へ行くのか。今回、18歳選挙権の特集を通して私も改めてその意味を考えさせられました。取材した高校生は皆さん、前向きで力強い意見を持っていました。10代に刺激を受けて私たちが選挙に関心を向けていかないとはいけませんね。